

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	英語 2 A
科目基礎情報						
科目番号	101730		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	生物応用化学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	・ 中学英語まるまるリスニングBOOK 標準 (三省堂) ・ 総合英語 FACTBOOK English Grammar Core (桐原書店) ・ DUO 3.0 (アイシービー) ・ 総合英語 FACTBOOK これからの英文法 (桐原書店)					
担当教員	平田 隆一郎					
到達目標						
1. リスニング力が向上する。 2. 高等学校学習指導要領に示されているレベルの英文法を習得する。 3. DUO 3.0 の約1000 語を習得する。 4. 英語を正しく発音できる。 5. 1年次のTOEIC Bridge のスコアを上回ることができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1	平易な英文をシャドーイングできる。		平易な英文をオーバーラッピングできる。		平易な英文をオーバーラッピングできない。	
評価項目 2	既習の構文や新しく導入した文法事項を使って英文を作ることができる。		既習の構文や新しく導入した文法事項を理解できる。		既習の構文や新しく導入した文法事項を理解できない。	
評価項目 3	導入した単語を日本語から英語、英語から日本語へすばやく置き換えることができる。		導入した単語を日本語から英語、英語から日本語へ置き換えることができる。		導入した単語を日本語から英語、英語から日本語へ置き換えることができない。	
評価項目 4	文における基本的な区切りを理解し、聞き手に伝わるように音読できる。		聞き手に伝わるように音読できる。		聞き手に伝わるように音読できない。	
評価項目 5	1 年次のTOEIC Bridge のスコアを大幅に上回ることができ		1 年次のTOEIC Bridge と同程度のスコアを取得できる。		1 年次のTOEIC Bridge のスコアを下回る。	
学科の到達目標項目との関係						
自己表現 (C)						
教育方法等						
概要	中学レベルの教材を用い、ディクテーション・分析・音読トレーニングを行い、リスニング力を養う。語学の基礎となる語彙・文法の定着を目指す。					
授業の進め方・方法	事前・自己学習： 毎回の単語テストの準備を行う。【DUO】 文法書の該当範囲の問題に取り組む。【Harmony】 授業中に行うディクテーション・分析・音読トレーニングに取り組む。【リスニングBook】 長期休暇中も課題に取り組み、休み明けテストの成績を試験点に加えます。 授業計画や評価割合は変更することもあります。					
注意点	必ず辞書と音読トレーニングを行うためのイヤフォンを持参してください。 毎回の授業で小テストを行うので、しっかりと準備して臨んでください。 英語を聴き取るためには英語をきちんと発音できなければなりません。 音読トレーニングに積極的に取り組みましょう。 そして、1 年次のTOEIC Bridge のスコアを上回れるようがんばりましょう。					
本科目の区分						
本科目は履修要覧(p.9)に記載する「②専門基礎」科目である。						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Introduction Factbook 品詞		1,2,3,4	
		2週	Listening Book 導入編		1,2,3,4	
		3週	Factbook 文型 (1)(2)		1,2,3,4	
		4週	Listening Book 練習編		1,2,3,4	
		5週	Factbook Plus 文型		1,2,3,4	
		6週	Listening Book Training 3		1,2,3,4	
		7週	Factbook 時を表す表現 (1)(2)		1,2,3,4	
		8週	Listening Book Training 6		1,2,3,4	
	2ndQ	9週	Factbook 完了形 (1)(2)		1,2,3,4	
		10週	Listening Book Training 8		1,2,3,4	
		11週	Factbook 助動詞 (1)(2)(3)		1,2,3,4	
		12週	Listening Book Training 9		1,2,3,4	
		13週	Factbook 受動態 (1)(2)		1,2,3,4	
		14週	夏休み明け試験		1,2,3,4	
		15週	期末試験			
		16週	試験返却 Factbook 不定詞 (1)(2)		1,2,3,4	
後期	3rdQ	1週	Listening Book Training 10 Factbook 不定詞 (3)		1,2,3,4	

		2週	Listening Book Training 10 Factbook Plus 不定詞	1,2,3,4
		3週	Listening Book Training 11 Factbook 動名詞 (1)	1,2,3,4
		4週	Listening Book Training 11 Factbook 動名詞 (2)	1,2,3,4
		5週	Listening Book Training 12 Factbook 分詞 (1)	1,2,3,4
		6週	Listening Book Training 12 Factbook 分詞 (2)	1,2,3,4
		7週	Factbook Plus 分詞	1,2,3,4
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	Listening Book Training 14 Factbook 比較 (1) (2)	1,2,3,4
		10週	Listening Book Training 14 Factbook Plus 比較	1,2,3,4
		11週	冬休み明け試験 Factbook 関係詞 (1)	1,2,3,4
		12週	Listening Book Training 15 Factbook 関係詞 (2)	1,2,3,4
		13週	Listening Book Training 15 Factbook 関係詞 (3)	1,2,3,4
		14週	Listening Book Training 16 Factbook 仮定法 (1)	1,2,3,4
		15週	Listening Book Training 16 Factbook 仮定法 (2)	1,2,3,4
		16週	期末試験	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15

			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後7,後9,後10,後11,後12,後13,後14,後15
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,後1,後2,後3,後4,後5,後6,後10,後11,後12,後13,後14,後15
評価割合						
	試験	小テスト	課題	合計		
総合評価割合	60	20	20	100		
基礎的能力	60	20	20	100		
専門的能力	0	0	0	0		
分野横断的能力	0	0	0	0		